

高齢者住宅の質向上へ団体結成

道内で高齢者住宅を運営する事業者らが、住宅の質の向上などを目指し団体を結成した。高齢者住宅は各地で増えているが、事業者間のネットワークづくりは初の試み。勉強会など会員向けの事業のほか、一般市民を対象にした講演会も開

催していく予定だ。名称は「北海道高齢者向け住宅事業者連絡会」。6日夜に札幌市内で設立総会を開き、会長にNPO法人シーズネット(札幌)の奥田龍人副理事長が就任した。札幌市内を中心に21事業者が参加し、今後さらに

運営者ら 会員募集 講演会など開催予定

会員を募る。

国は、日常生活圏で医療や介護などを提供する「地域包括ケア」の確立を目指し、サービス付き高齢者向け住宅など高齢者の住まい整備に力を入れている。連絡会は会員への情報提供や職員向け研修会、運営に関する相談に対応する。また保証人がいない高齢者の入居や身寄りのない人の葬送を支援する仕組みなども研究する予定。

年会費1万円。申し込み、問い合わせはシーズネット内の設立準備室 ☎011-708・8567へ。



札幌市内で開かれた「北海道高齢者向け住宅事業者連絡会」の設立総会

6日夜